

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【公開番号】特開2000-19191(P2000-19191A)

【公開日】平成12年1月21日(2000.1.21)

【出願番号】特願平10-188937

【国際特許分類第7版】

G 01 P 3/488

F 16 C 19/00

F 16 C 19/52

F 16 C 41/00

【F I】

G 01 P 3/488 L

F 16 C 19/00

F 16 C 19/52

F 16 C 41/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年4月11日(2005.4.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

次に、図6は、本発明の実施の形態の第3例を示している。本例の場合、上述した第2例の場合と異なり、ハブ4bの内端部に雄ねじ部38(図4、5)を形成せず、内端部(図6の右端部)に円筒部57を形成している。そして、このハブ4bの内端部外周面に内輪5を外嵌し、上記円筒部57の先端を直径方向外方に向けかしめ広げる事により、このかしめ部分と上記ハブ4bの中間部外周面に形成した段部40(図4、5参照)との間で、上記内輪5を挟持固定している。従って、本例の場合、上述した第2例の場合に使用していたナット39(図4、5)が不要となるだけでなく、このナット39を省略した分センサ付軸がり軸受ユニットの軸方向寸法の短縮化を図れる。